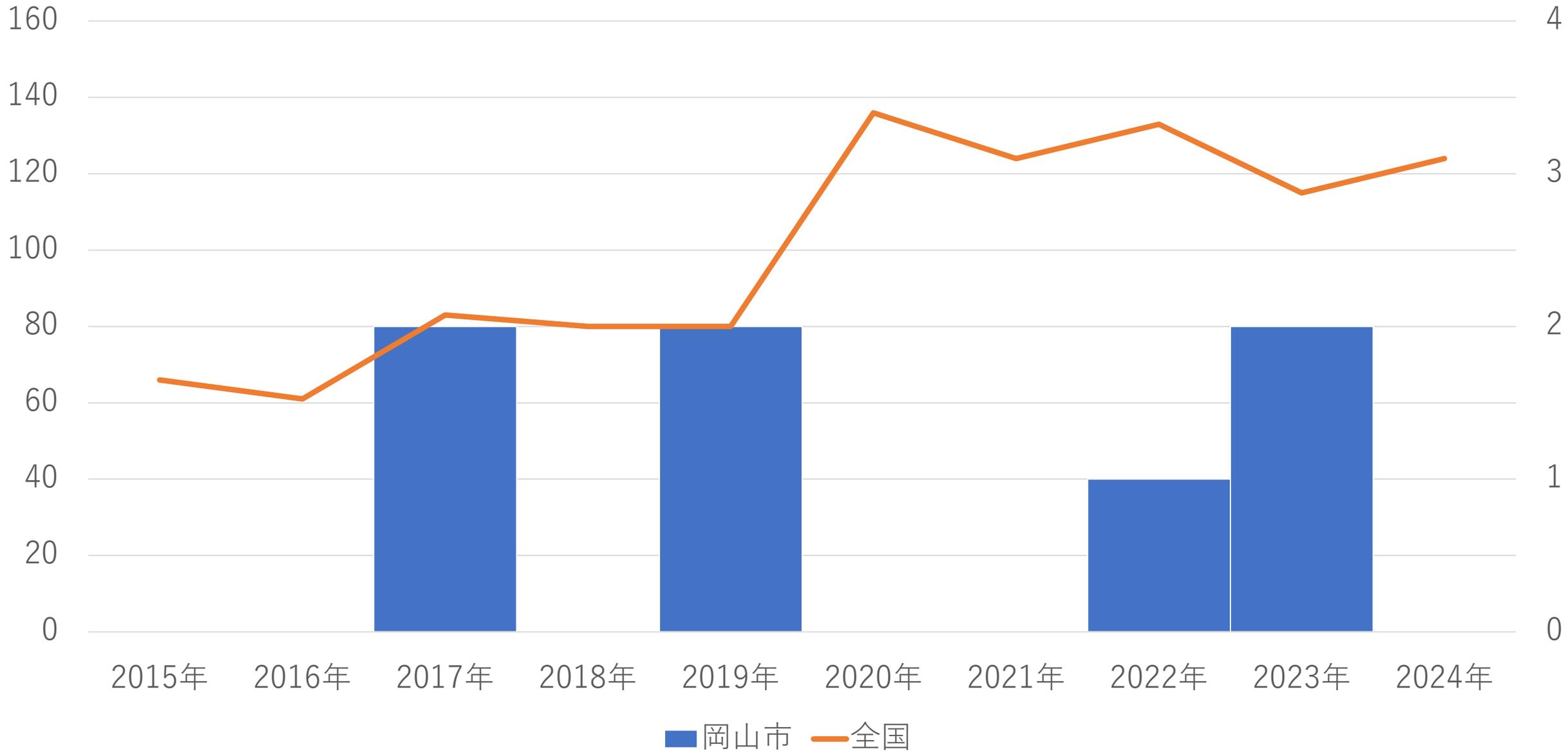
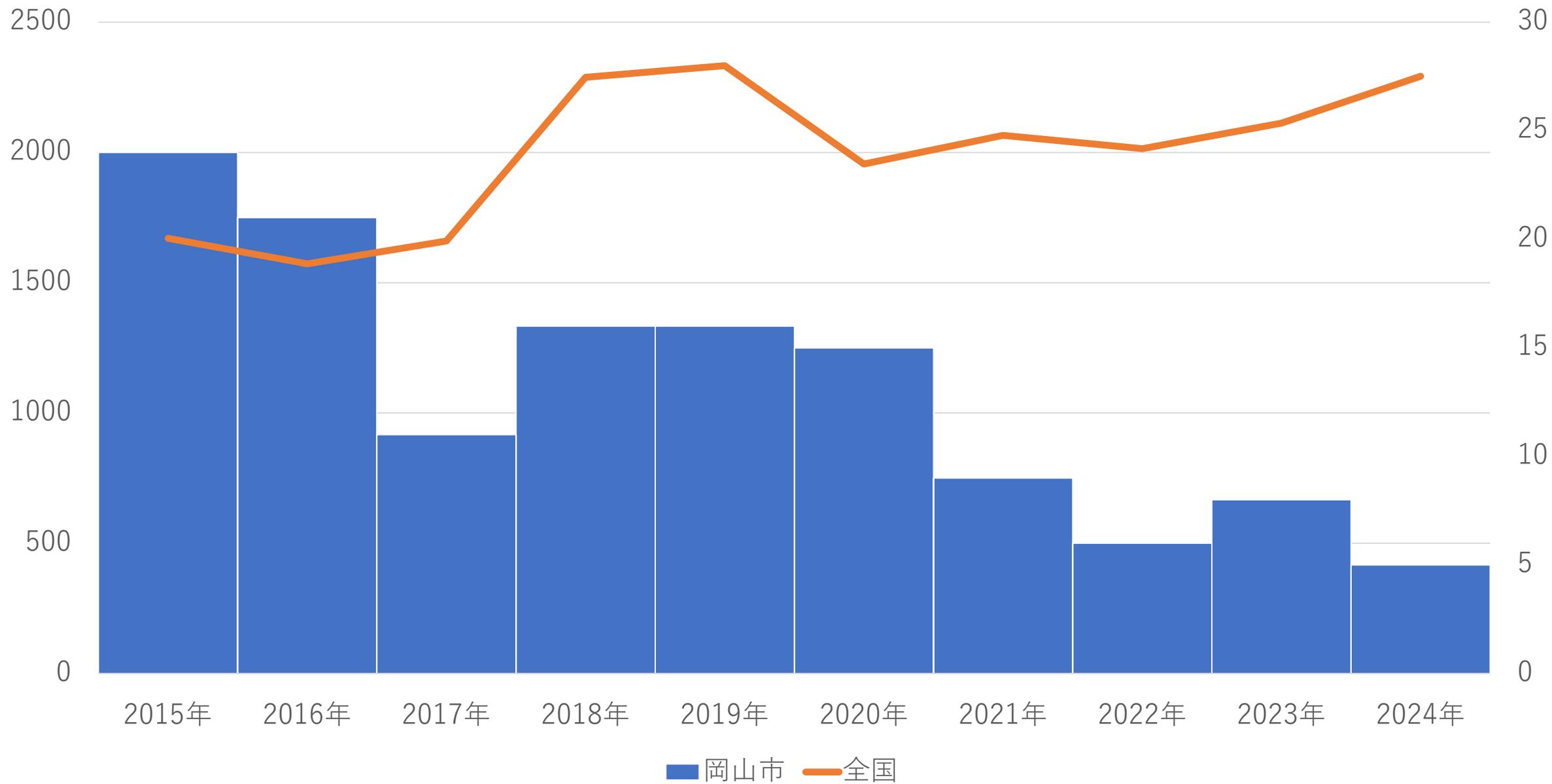


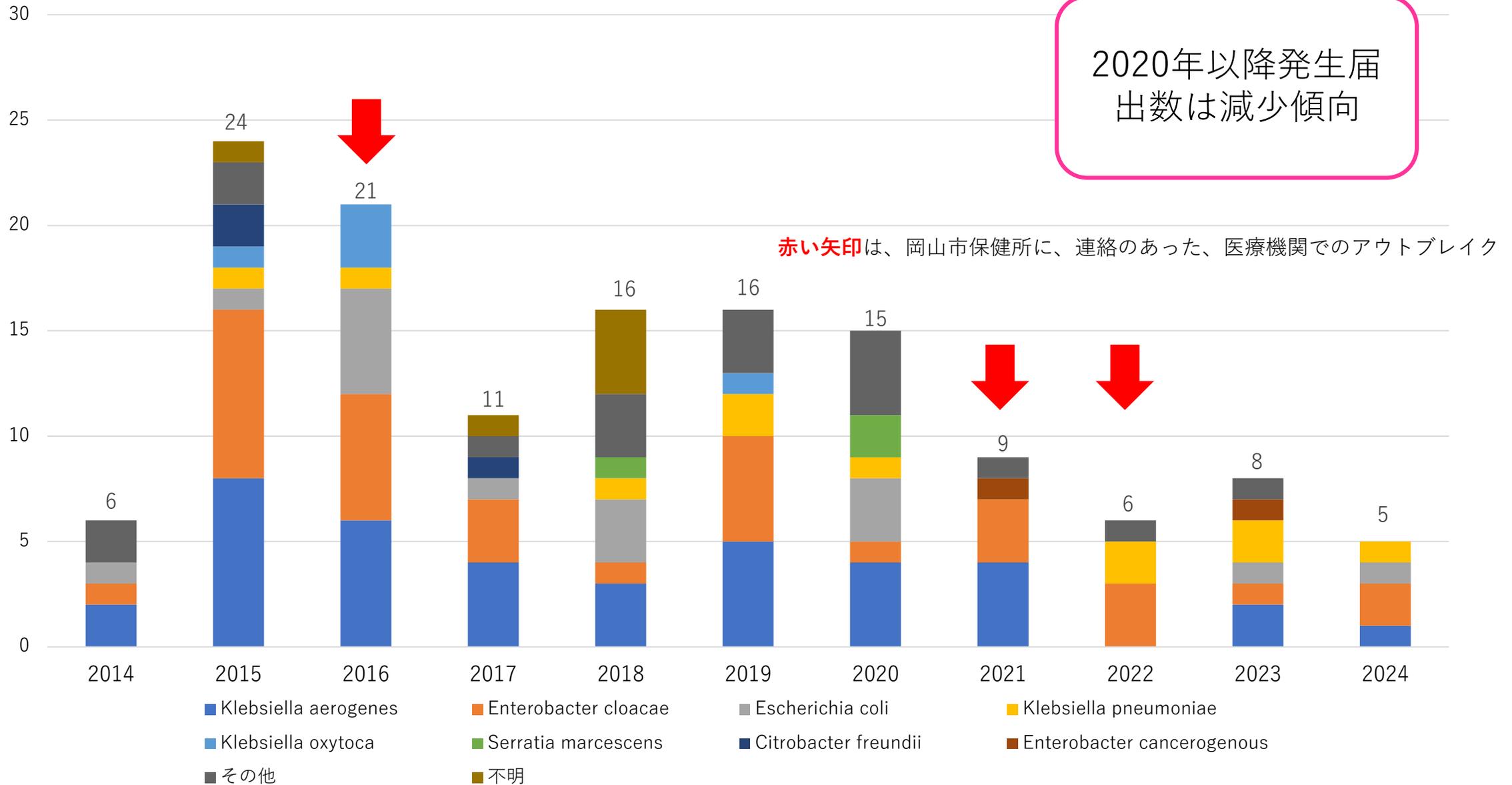
VRE：バンコマイシン耐性腸球菌感染症 届出数（全国、岡山市）



CRE：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 届出数（全国、岡山市）



CRE菌種別発生届出数推移



CRE病原体サーベイランス結果 (岡山市保健所実施部分)

	届出例 (発症) (2018.1-2024.4)			保菌例 (2020.4-2024.4)		
	検査数	CPE遺伝子陽性数	(%)	検査数	CPE遺伝子陽性数	(%)
IMP型	61	13	(21.3)	38	29	(76.3)
NDM型	61	1	(1.6)	38	3	(7.9)
KPC型	61	0		38	0	
OXA-48型	61	0	(0)	38	2	(5.3)

国内感染?

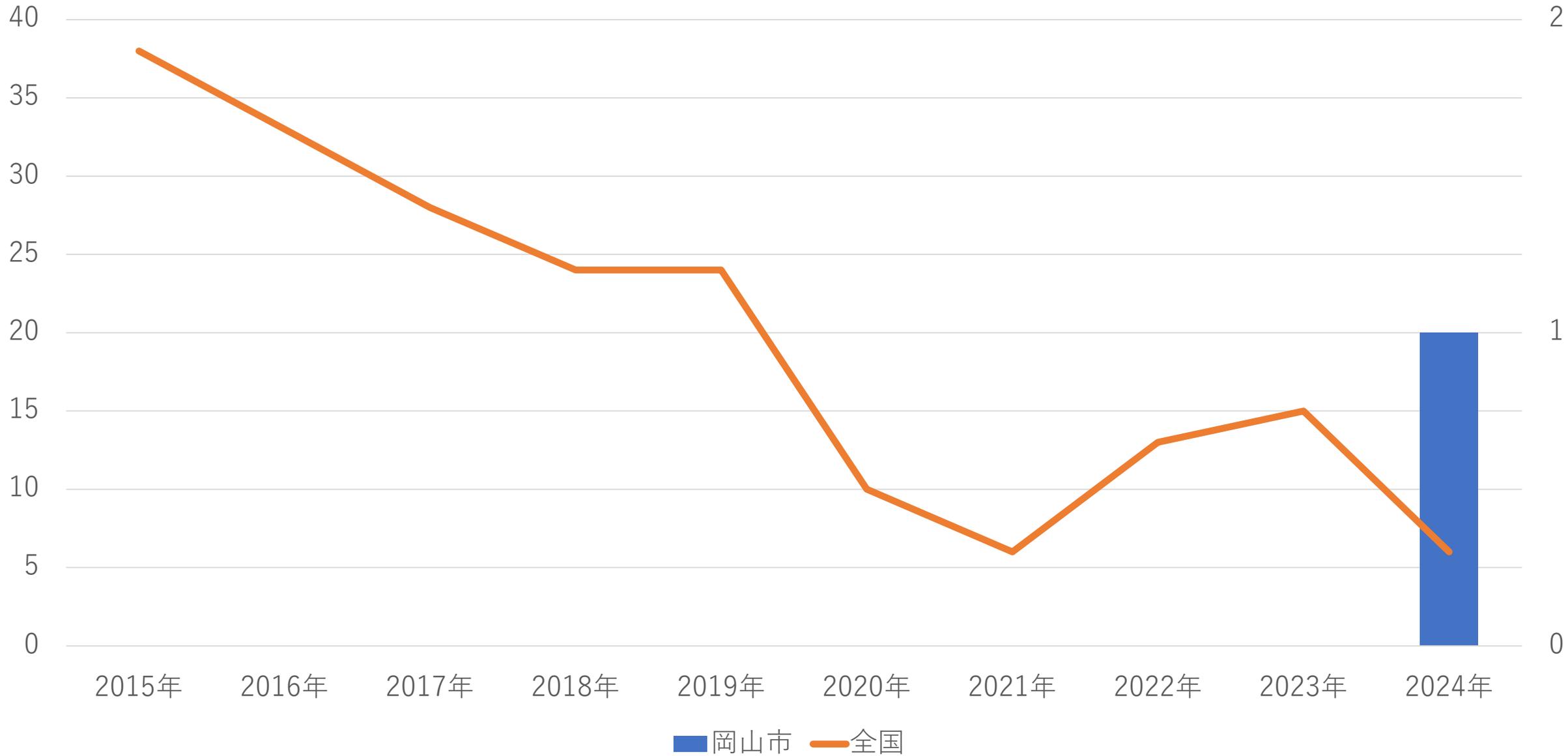
海外渡航歴のない医療従事者

国内感染2件
海外由来1件

海外渡航歴のない高齢者施設入所者等

海外由来

MDRA（薬剤耐性アシネトバクター）届出（全国、岡山市）



33 岡山県-2023年 岡山県内のJANIS参加医療機関で検出された薬剤耐性菌の分離率

検体提出患者数：61346

No	項目	最小値	中央値	箱ひげ図	最大値
7	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE) 分離患者数 182 分離率 0.30%	0.06	0.30	0.41 0.45	0.85
8	カルバペネム耐性緑膿菌 分離患者数 581 分離率 0.95%	0.42	0.73	0.83 0.98	1.34
9	第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌 分離患者数 924 分離率 1.51%	0.20	0.79	1.10 1.89	2.31
10	第三世代セファロスポリン耐性大腸菌 分離患者数 3697 分離率 6.03%	2.06	3.52	4.31 5.16	6.29
11	フルオロキノロン耐性大腸菌 分離患者数 3795 分離率 6.19%	3.41	4.98	5.69 6.34	7.97

● 赤丸が岡山県の分離率を示している



岡山県は
耐性菌の分離率が
全国の中で高い！！

JANISの公開情報
都道府県別「特定の耐性菌」
箱ひげ図より一部抜粋

33 岡山県-2023年

検体提出患者数：61346

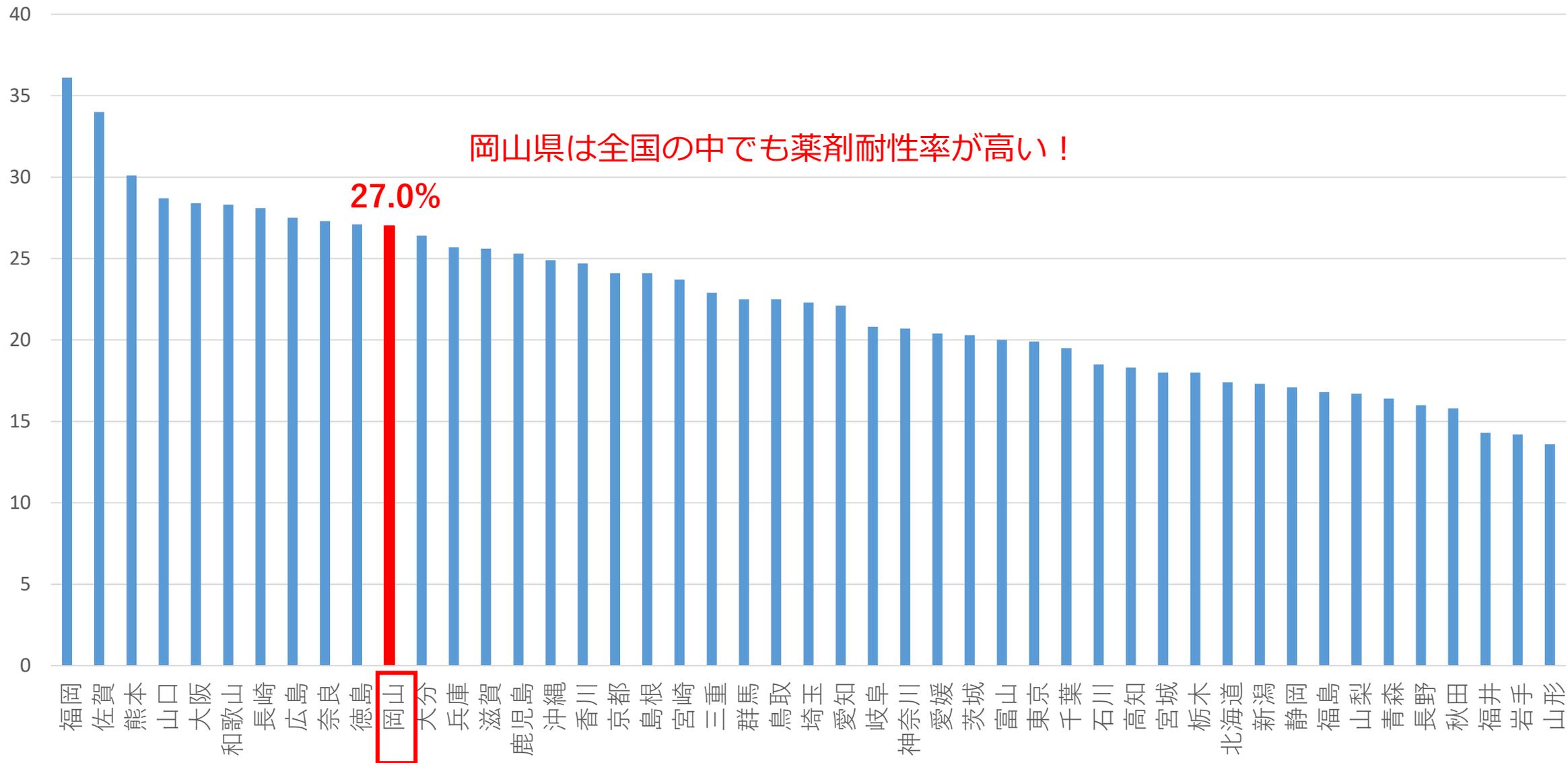
JANISの公開情報
都道府県別「特定の耐性菌」
箱ひげ図より一部抜粋

No	項目	最小値	中央値	箱ひげ図	最大値
1	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) 分離患者数 3898 分離率 6.35%	4.48	5.99		8.57
2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA) 分離患者数 0 分離率 0.00%	0.00			
3	バンコマイシン耐性腸球菌(VRE) 分離患者数 1 分離率 0.00%	0.00	0.01		0.96
4	ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP) 分離患者数 254 分離率 0.41%	0.09	0.29		0.60
5	多剤耐性緑膿菌(MDRP) 分離患者数 14 分離率 0.02%	0.00	0.02		0.08
6	多剤耐性アシネトバクター属(MDRA) 分離患者数 2 分離率 0.00%	0.00	0.00		0.06

●赤丸が岡山県の実績を示している

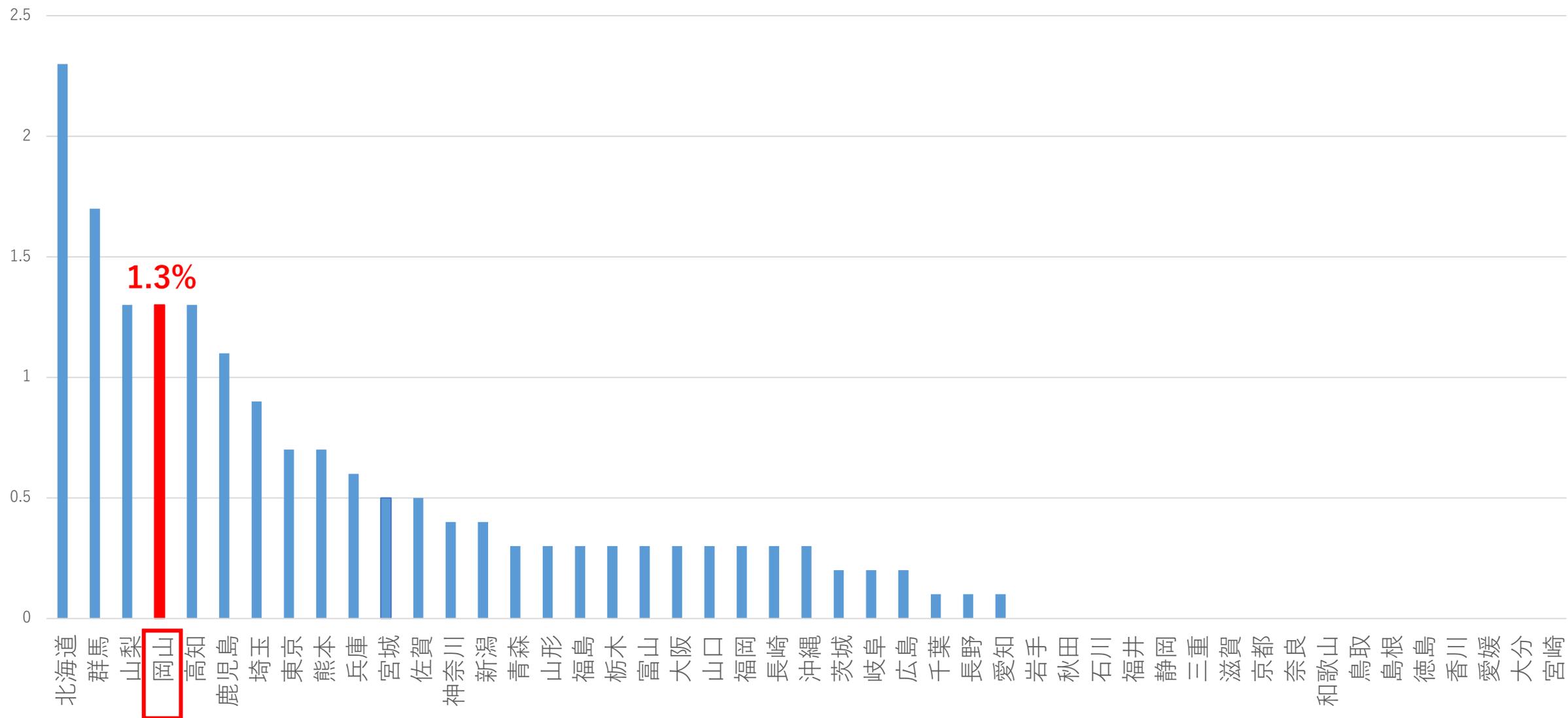
ESBL：大腸菌の第3世代セファロスポリン（CTRX）耐性率（%）

2023年



PRSP：肺炎球菌のペニシリン（PCG）耐性率（%）

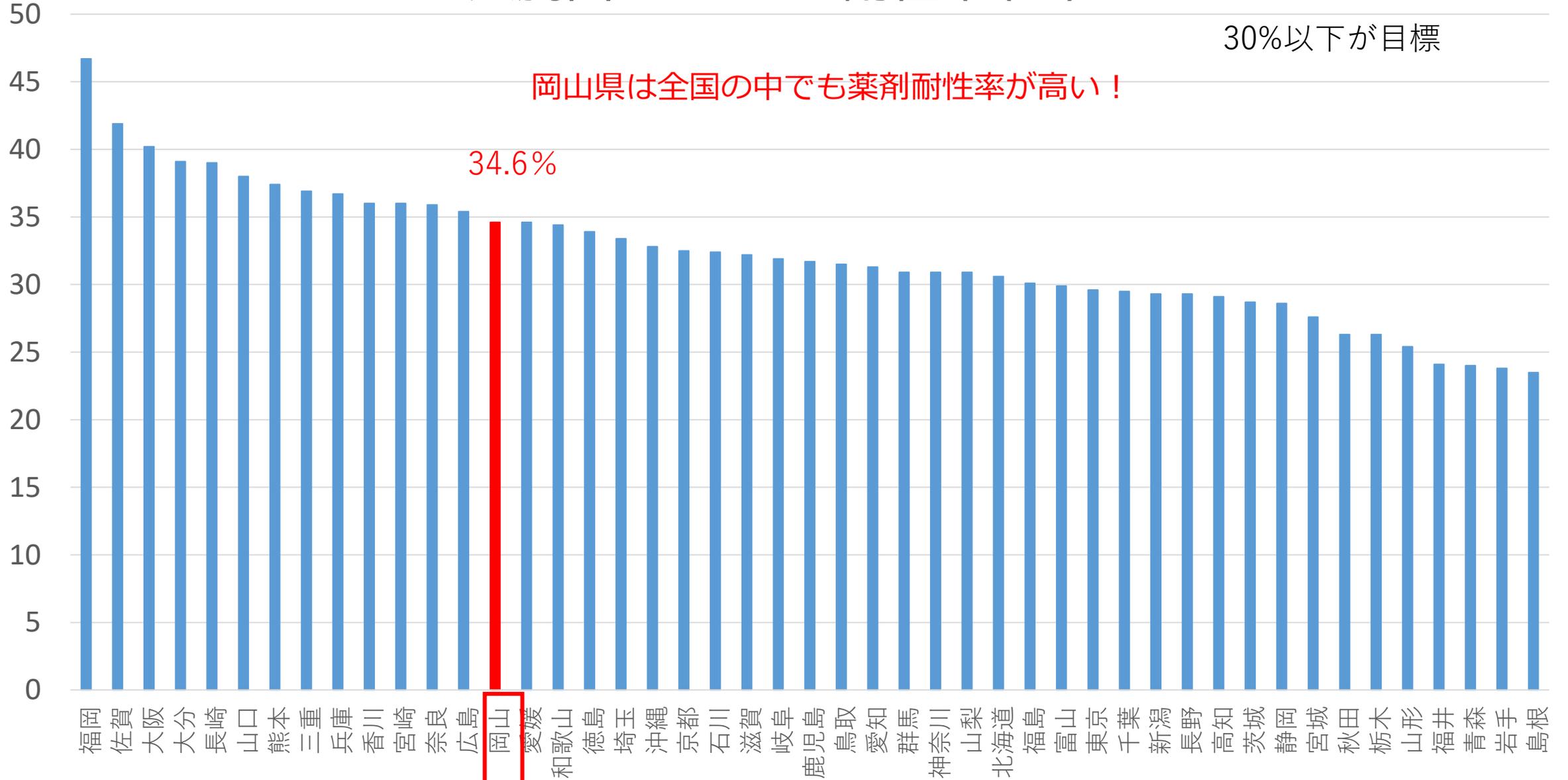
2023年



大腸菌のキノロン耐性率(%)

2023年

30%以下が目標

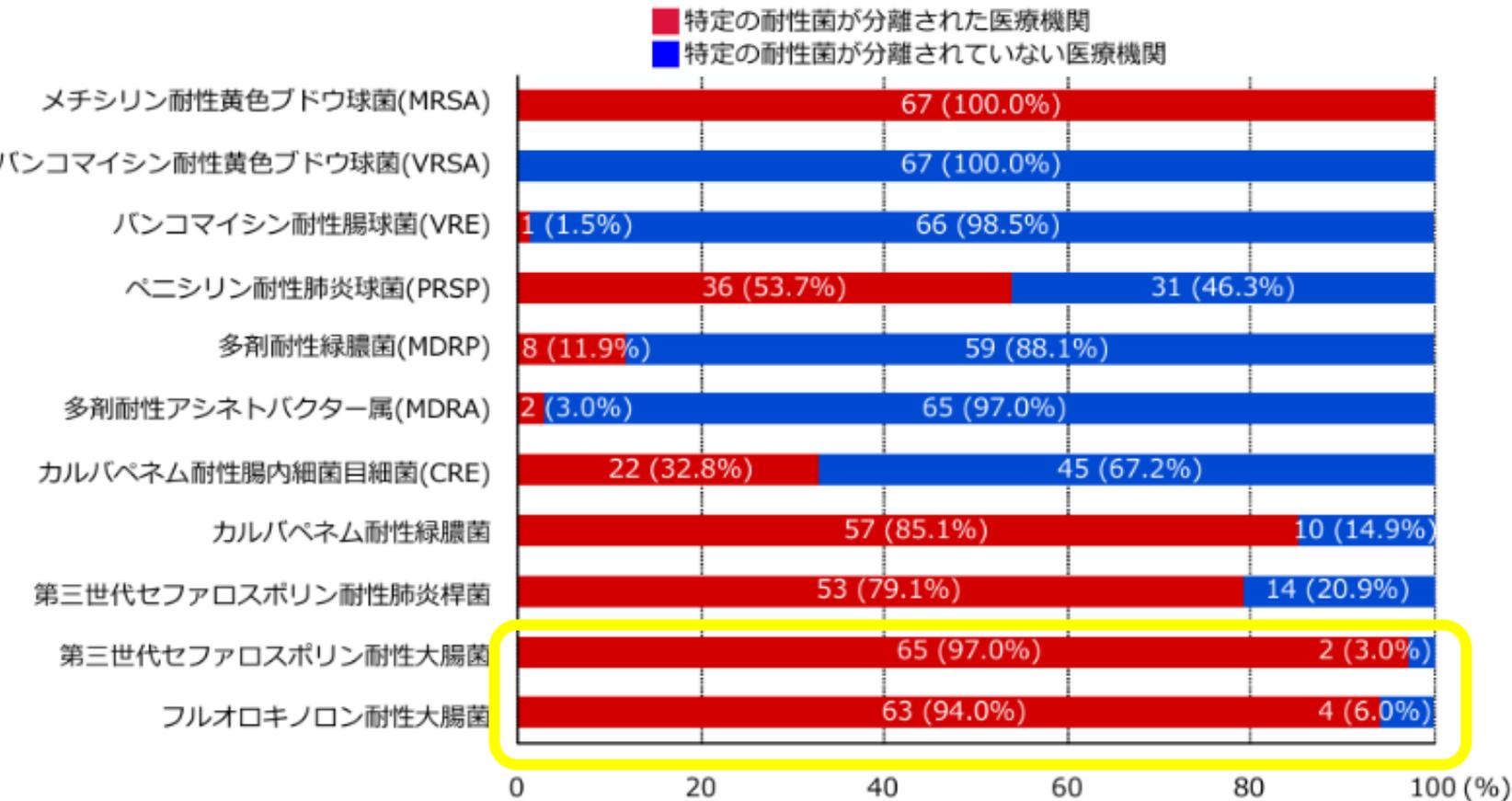


岡山県は全国の中でも薬剤耐性率が高い！

34.6%

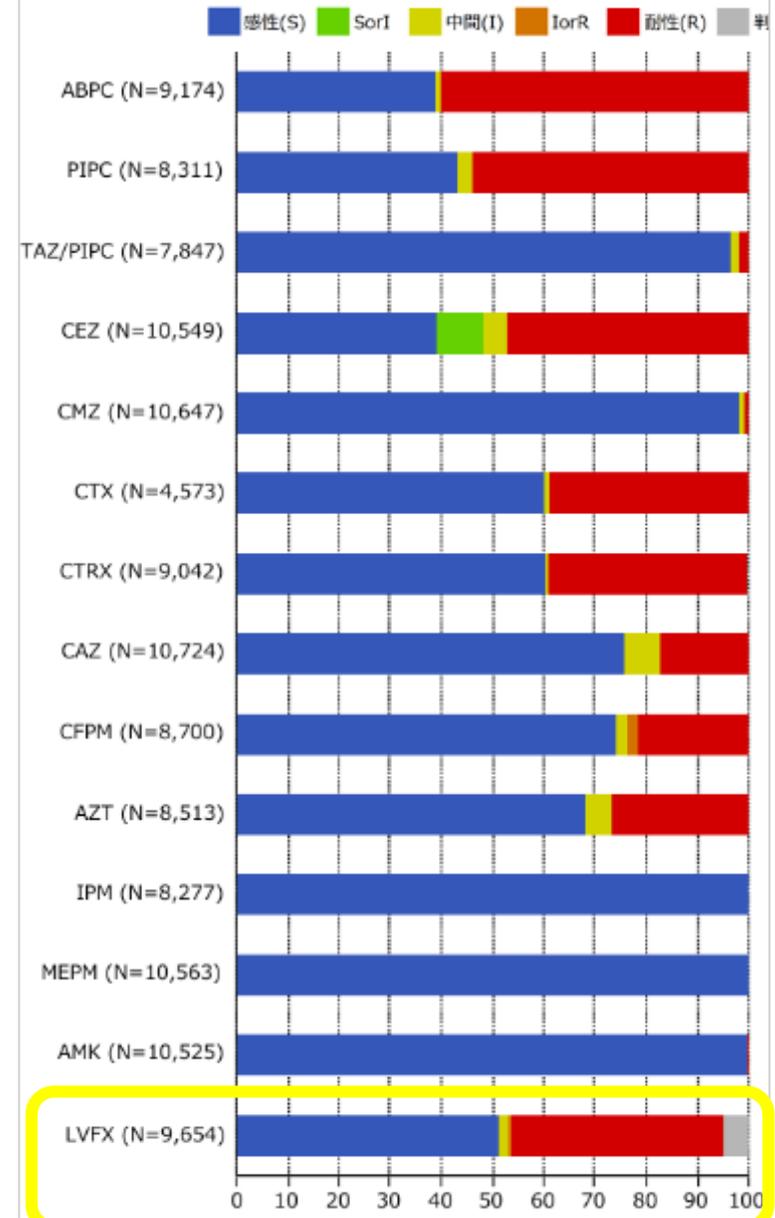
6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

2023年 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (N=67)



7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Escherichia coli †



出典
厚生労働省
院内感染対策サーベイランス事業
<https://janis.mhlw.go.jp/index.asp>

